



イチゴの生育が良くなるように余分な葉を丁寧に摘む



現役時代は主にリリーフだった三ツ間さん=2019年

Profile

**三ツ間卓也** [みつま・たくや]

1992年7月22日生まれ、高崎市出身の31歳。健大高崎高一高千穂大からBCリーグ・武蔵を経て育成ドラフト3位で2016年、中日に入団。同年オフに支配下登録された。17年4月12日のヤクルト戦で球団1人目の育成出身の初勝利を記録。21年、引退。神奈川県農業アカデミーなどで勉強し、今年1月「三ツ間農園」をオープンした。

成ドラフト3位で16年、中日に入団した。次はいかに支配下を勝ち取るか。2軍で1番の結果を残してもなかなか1軍で必要とされない。2軍



約5000株を植えたビニールハウスで自慢のイチゴを手に笑顔の三ツ間さん=2月21日、横浜市泉区で



～元竜戦士の現在地～

Vol.01

# 三ツ間卓也さん

## イチゴ界でエースになる

中日ドラゴンズの一員として戦った選手やスタッフは退団後、どんなセカンドキャリアを送っているのか。本誌記者の伊東朋子が元竜戦士を訪ね、当時を振り返り、今を語ってもらう企画「ドライマ」。1回目は主にリリーフとしてブルペンを支えた三ツ間卓也さん(31)。引退から3年後の今年1月、横浜市泉区でイチゴ農園をオープンした。

収穫したばかりのイチゴを手に、笑顔の三ツ間さん。後ろにはこだわりのいっぱい詰まったイチゴ農園が広がっていた。15列の高設栽培ベンチには互い違いに30列、やよいひめ、おいCベリーなど9品種、約5000株の苗が植えられている。「9品種もつくっているイチゴ農園はほかに見たことがない。大きさ、色、形も違うイチゴを味わってほしい。育て方は品種ごとに違うから9通り。農業初心者だからこそできた挑戦だった」と胸を張る。

**コロナ禍の家庭菜園**

畑違いの農家転身のきっかけは家庭菜園。新型コロナ禍でシーズン開幕が遅れた2020年、外出が制限される中、当時1歳の長男の伊吹君に外遊びをさせてあげたいという思いから、自宅マンションのベランダでイチゴを栽培した。そのイチゴを喜んでもらったこと、さらに21年オフに戦力外になり、就職を考えた時に妻の法子さんに「好きなことをやってみたら」と背中を押してもらったことだった。

プロ野球選手になることは小さいころからの夢だった。健大高崎高は地元の強豪だったが、自身は控え。出られなければ意味がないと東京新大連盟の高千穂大へ。中心で活躍したが、プロから声はかからず、BCリーグの武蔵で、「ドラフト戦略で150\*が出せるサイドスローのリリーフ投手」に転向。リーグのセーブ記録を更新し、育

監督やコーチに相談し、先発でも行けることをアピール。1年目のオフに支配下登録された。

**育成出身で「初勝利」**

2桁背番号「43」となった2年目は順調。開幕1軍メンバーに入り、4月12日のヤクルト戦では育成ドラフト出身者の球団初勝利も達成した。19年7月27日のDeNA戦では先発の松坂大輔投手が1死しか取れずに8失点降板。「中高校生時代にあこがれていた松坂さん。マウンドで「三ツ間ごめん」って言われて「大丈夫です。任せてください」と。チームは大敗ですが、うれしかった」と振り返る。20年7月7日には、野手を使い果たした延長10回に与田剛監督から投手の代打に送られた。「周りは悲観的な見方だったが、相手投手は当時、ヤクルトの抑えの石山さん。中継ぎ投手が抑えのエースの投球を打席で見られるのは大きな財産。引退してからは大金を支払っても得られない称号かな」と一代打三ツ間「も肯定する。目的を設定してから一つずつ



「代打三ツ間」もい思い出=2020年7月7日

**三ツ間卓也さん 年度別登板成績**

年	試合	勝	敗	投球回	被安打	奪三振	与四死	失点	自責点	防御率
17	35	2	1	37 2/3	35	29	33	17	17	4.06
18	4	0	0	5 2/3	8	5	7	8	7	11.12
19	29	2	2	34 2/3	30	31	15	13	13	3.38
20	4	0	0	4 1/3	11	7	3	10	10	20.77
21	5	0	0	5 1/3	10	6	1	5	4	6.75
計	77	4	3	87 2/3	94	78	59	53	51	5.24

**いずれば愛知にも！**

無収入の2年間を乗り越え、開いたイチゴ農園には中日時代のチームメイトや多くのファン、関係者も訪れる。きれいに整備された受け付けには、現役時代の写真や訪れた関係者のサインも。「いずれには愛知にも店舗展開をしたい。それには任せられる人材育成から」と夢はまだまだ途中経過だ。プロ野球でも「超一流になりたかった」という三ツ間さん。イチゴ界のエースへは、着実に階段を上るつもりだ。

♡ PN なおりゅう = 山口県下関市



PN ほそまき = 石川県

れたし、2人とも目いっぱいサービスをしてくれました！  
また、募金箱もおいでしてくれて、そのメッセージがとても優しくて2人らしい感じでした。  
まだまだ石川県は大変ですが、つば九郎さん、ドラアさんに励ましてもらったあの日を思い出して、少しでも気持ちを前向きにできたらいいなと思います。

## 元ドラゴンの三ツ間さんがイチゴ農園

中日ドラゴンズを引退した三ツ間卓也さんが、セカンドキャリアでイチゴ農家へ転身。新たなホームグラウンドである「三ツ間農園」に、開園初日の1月27日に行ってきました。

イチゴ摘みの目玉は、高級希少品種の「天使のいちご」。9種類のイチゴが食べられます。練乳もありますが、つけなくてもめちゃくちゃ甘くておいしかったです。

これからも三ツ間さんのセカンドキャリアを応援していきます。

★ PN 三ツ間卓也応援隊 = 名古屋市



## 小学生で体験した優勝 今も忘れられない思い出



ことし還暦を迎える年男です。さかのぼること今からちょうど50年前。当時ON(王&長嶋)というスーパースターを要する巨人が9連覇を達成し、10連覇を目指すはずが、わがドラゴンズがそれを阻止。20年振りのセ・リーグ優勝を成し遂げてくれました。

まだ小学4年生だったのですが、優勝を決めた大洋とのダブルヘッダーを生で観戦していました。試合前の練習中に、この年に生まれた「燃えよドラゴンズ！」が何度も球場内に流れ、そしてついに優勝が決まった瞬間、まわりの人たちが一気にグラウンドに流れ込んで行きました。

危ないからということ、そのままスタンドで見えていましたが、初めてみる大好きなドラゴンズの優勝に、ものすごく感動したことが忘れられません。

- う 初々しい笑顔
- め メンタームでリップケア
- つ 次につないで
- こ 好感度アップ
- う うれしいですね！
- だ 大事なファンのために
- い いつもありがとう！

遠藤麻衣 45歳  
= 東京都足立区

♣ 久世 考 59歳 = 岐阜市  
立浪ドラゴンズ！  
ことしは辰年。どうか50年前の感動を超えるシーズンになりますように。頼むぞ。

